

競技注意事項

1 規則

- ・本大会は2020年日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。
※学校対抗の混成は、単独種目として通常のルールで行う。(一度の不正スタートで失格)

2 競技場

- ・主競技場の競走路(8レーン)及び助走路は全天候である。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクピンの数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を厳守されたい。
- ・競技用シューズについてはWAの新規定は適用しない。

3 練習

- ・練習はサブトラックおよび管理棟までのスロープを使用する。ただし、跳躍競技・投擲競技の練習は競技開始40分前より、競技場内で役員の指示により行うものとする。
- ・競技運営に支障をきたさないかぎり、本トラックを一部開放する。ただし、役員の指示に従って行うこととする。

4 招集

- ・招集は競技日程に示された時間に現地で行う。
- ・招集に遅れたものは、欠場とみなし出場を認めない。
- ・リレー種目は競技開始1時間前までに**競技者係にオーダー用紙**を提出。
- ・学校対抗の混成は**第1種目の競技開始50分前までにその日の種目の学校対抗オーダー用紙を本部に提出**する。その後は各種目競技開始10分前に競技場所で行う。
- ・2種目を同時に兼ねて出場する選手はその旨を本人または代理人が競技者係および出発係に申し出て了解を得ること。

5 アスリートビブス

- ・アスリートビブスは登録番号とし、顧問総会で配布した数字サンプルを使用して各自で作成して(男女とも黒字)2枚を胸と背につけること。ただし、跳躍競技参加の競技者は胸部または背部だけでもよい。
- ・男子3000mを除くトラック競技は、写真判定用の**腰ナンバー標識(登録番号)を各自で作成する**。腰ナンバーのサイズはB6とし、右腰部やや後方につけること。(学校対抗、混成も含む)
- ・男子3000mは特別ナンバーカード・腰ナンバーカードを使用するので招集場所ですて受け取る。レース終了後の返却はしない。
- ・**必要な安全ピンは全て各自で用意すること。**

6 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順

- ・トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムで示す。

7 リレー競技について

- ・オーダー用紙は招集場所ですて配布する。
- ・リレー競技に出場するチームのユニフォームは、4名統一したものを着用すること。

8 写真判定・電気計時

- ・トラック競技においては写真判定を採用する。

9 フィールド競技について

- ・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。
- ・男子走幅跳・女子走幅跳はAピット(トラック側)、Bピット(スタンド側)で行う。

10 学校対抗混成について

- ・学校対抗混成は1校2名以上男子8名以内、女子7名以内で行う。
- ・各種目の記録を混成競技得点表より得点化し、合計得点で競う。
- ・当日朝の招集時に選手の変更を認める。ただし、学校対抗混成にエントリーしている選手に限る。
- ・チームの事情により、スタートできない種目があっても、チームは失格とならない。

11 用器具

- ・競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
- ・ただし、砲丸、やりについては検査を受けて承認されたものに限り、個人所有のものが使用できる。**(すべての検査は1日目は9:30、2日目は9:00までにフィニッシュ先の用器具倉庫前にて行う。)**

なお、検査を受ける用器具は日本陸上競技連盟の検定品であること。

1 2 抗議と上訴

- ・競技規則 146 条によって行う。

1 3 欠場

- ・朝 8 : 0 0 までに「出・欠場届」を本部に提出する。
その後、各種目にやむを得ず欠場をする者は、できるだけ早く競技者係に申し出る。
(競技者係は 1 0 0 m スタート地点後方に設ける。)

1 4 その他

- ・競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。
- ・プログラムに誤記がある場合には、速やかに本部に申し出ること。
- ・参加各校の顧問は、競技役員または補助役員を必ずおこなう。
- ・参加各学校より 1 名以上の補助員を出し、本部前に集合すること。
- ・参加選手についてもフィールド競技の準備等についてできるだけ協力すること。
- ・本大会に不明な点がある場合には、顧問または生徒の代表が本部まで問い合わせること。
- ・メインスタンドでの部旗、横断幕等の設置は禁止とする。
- ・サブトラックにはテントの設営はできない。
- ・トラック、フィールドでの付き添い及び応援は一切禁止する。
- ・貴重品は各自で保管し、紛失には十分注意すること。
- ・ビデオ、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。(競技規則 144 条)
- ・ごみについては持ち帰りを原則とする。

- ・競技場の開門は両日とも 7 時 00 分 (予定) とする。それ以前には入場しない。(競技場の状況によっては開門時間が早くなる場合がある。) 競技終了後は、速やかに退場すること。

- ・**混成個人に出場する選手は、1 日目の最初の競技開始前に、高跳びの組分けの為に本部に招集されるので放送に注意すること。**

☆ 安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、選手、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場での練習は決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。
1, 2, 3レーンは周回練習に使用し5, 6, 7, 8レーンはスプリント練習等で使用する予定です。
- ・周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認をおこなう。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いをおこなう。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。1に
- ・投てき物(やり等)の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・チューブ等を使用しての練習は安全面から行わない。

不正スタートについて

- ・不正スタートは、1 回で失格とする。
- ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告 (イエローカード) が与えられる。
- ・本大会では、同一レースのイエローカード 2 枚で当該レースのみ失格 (レッドカード) とする。ただし、競技会からの除外はしない。